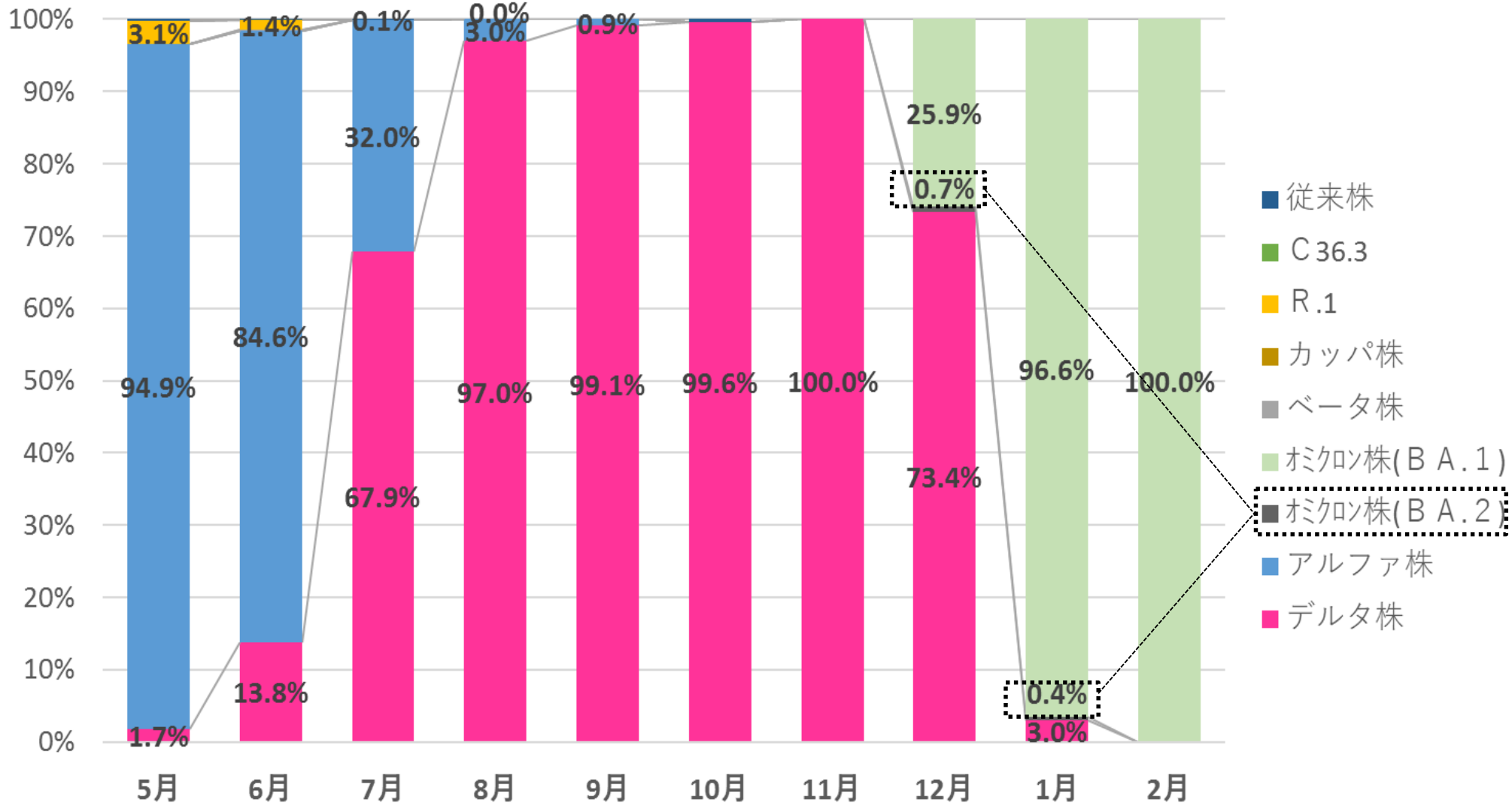


ゲノム解析結果の推移

(令和4年2月25日10時時点)



※ 都内検体の、令和3年5月から令和4年2月までに報告を受けた、ゲノム解析の実績

※ 追加の報告により、更新する可能性あり

ゲノム解析結果について（内訳）

（令和4年2月25日10時時点）

名称	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
アルファ株	2,052	2,133	2,835	354	35	0	0	0	0	0
デルタ株	37	348	6,008	11,423	3,833	234	89	102	221	0
うちAY.4.2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株（BA.1）	0	0	0	0	0	0	0	36	7,103	10
オミクロン株（BA.2）	0	0	0	0	0	0	0	1	29	0
ベータ株	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
カッパ株	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
R.1	67	36	7	0	0	0	0	0	0	0
C36.3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
従来株	5	1	1	0	0	1	0	0	0	0
計	2,163	2,520	8,851	11,777	3,868	235	89	139	7,353	10
健安研	55	138	161	252	55	57	26	22	781	0
その他	2,108	2,382	8,690	11,525	3,813	178	63	117	6,572	10
新規陽性者数（報告日別）	21,871	12,977	44,448	129,193	31,929	2,134	542	905	194,719	—
実施割合	9.9%	19.4%	19.9%	9.1%	12.1%	11.0%	16.4%	15.4%	3.8%	—

- ※ 都内検体の、令和3年5月から令和4年2月までに報告を受けた、ゲノム解析の実績
- ※ その他は国立感染症研究所や民間検査機関
- ※ 追加の報告により、更新する可能性あり
- ※ 新規陽性者数（報告日）については、12月分の都の公表数の修正を反映

BA.2系統の確認例 12月：1件、1月：29件（25件海外リンクなし）

オミクロン株亜種「BA.2系統」に対応した変異株PCR検査実施状況

- ✓ 都健康安全研究センターで、オミクロン株亜種「BA.2系統」に対応した変異株PCR検査を開始（1月31日～）
- ✓ デルタ株の主な変異「L452R」の有無を確認
- ✓ オミクロン株の主な変異「E484A」とともに、BA.1系統にはあるが、BA.2系統にはない「ins214EPE」の有無を確認

検査実施状況（令和4年2月25日10時時点）

		合計数	2.1~2.7	2.8~2.14	2.15~2.21	2.22~
変異株PCR検査実施数（健安研）		396	195	90	104	7
	オミクロン株疑い	358	181	76	95	6
	「BA.2」系統疑い	5	0	1	4	0
	「BA.1」系統疑い	353	181	75	91	6
	デルタ株疑い	1	0	1	0	0
	判定不能	37	14	13	9	1
【参考】BA.2系統疑い割合(判定不能分除)		—	0%	1.3%	4.2%	—

※検査結果が判明した日

【参考】

都内のL452R変異株PCR検査 実施状況一覧

〔オミクロン株疑い(L452R陰性)の推移〕 (令和4年2月25日10時時点)

	合計数	12.2まで	12.3-12.6	12.7-12.13	12.14-12.20	12.21-12.27	12.28-1.3	1.4-1.10	1.11-1.17	1.18-1.24	1.25-1.31	2.1-2.7	2.8-2.14	2.15-2.21	2.22-2.28
新規陽性者数 (報告日別)	—	—	57	118	173	263	528	5,422	22,787	60,097	106,147	127,357	108,124	102,105	11,443
変異株PCR検査実施数	90,496	29	18	77	143	176	354	3,775	15,016	26,916	30,368	10,182	512	2,923	7
健安研	2,232	29	2	28	56	52	99	386	436	465	283	195	90	104	7
民間検査機関等	88,264	0	16	49	87	124	255	3,389	14,580	26,451	30,085	9,987	422	2,819	0
変異株PCR検査 実施割合	—	—	31.6%	65.3%	82.7%	66.9%	67.0%	69.6%	65.9%	44.8%	28.6%	8.0%	0.5%	—	—
L452R変異株 陰性数	※82,295	0	0	0	6	14	158	3,058	13,644	24,915	28,091	9,118	442	2,843	6
健安研	1,661	0	0	0	6	7	34	286	339	408	223	181	76	95	6
民間検査機関等	80,634	0	0	0	0	7	124	2,772	13,305	24,507	27,868	8,937	366	2,748	0
L452R変異株 陽性数	1,716	25	17	63	111	140	164	452	401	181	124	33	1	4	0
判定不能件数	6,484	3	1	14	26	22	32	265	971	1,820	2,153	1,031	69	76	1
L452R変異株PCR検査 陰性率	—	—	0.0%	0.0%	5.1%	9.1%	49.1%	87.1%	97.1%	99.3%	99.6%	99.6%	99.8%	99.9%	—

※ L452R変異株陰性82,295件のうち、7,179件がゲノム確定済み

- ※ 12月以降のL452R陰性（デルタ株ではない）は、オミクロン株であることが推測できることからL452R陰性数を計上
- ※ 民間検査機関等の実施数については、追加の報告により、更新する可能性がある
- ※ L452R変異株PCR検査陰性率は、判定不能件数を、検査実施数から除外して算出
- ※ 「12.2まで」の検査結果に、アルファ株疑い1件を計上していないため、検査実施数と結果の件数が合致しない。

自覚症状の比較（令和3年8月と令和4年1月）

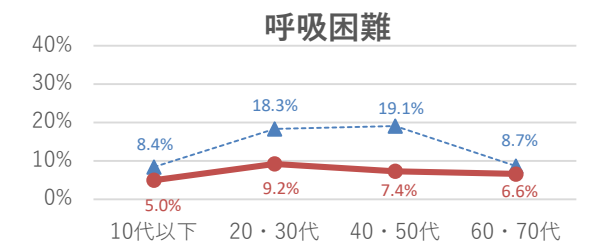
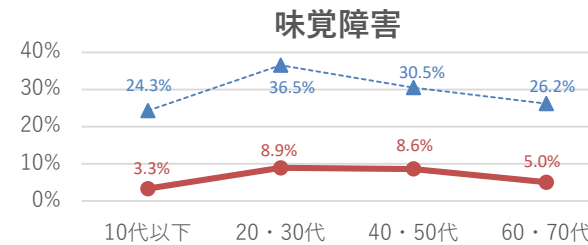
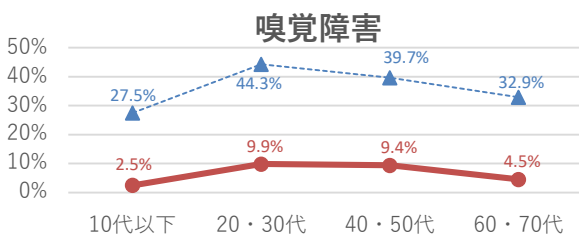
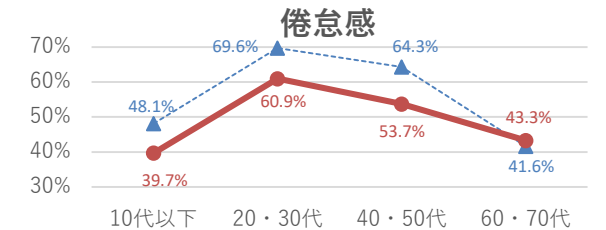
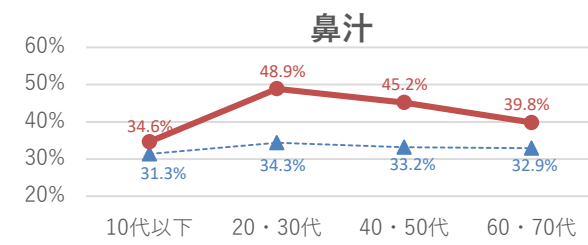
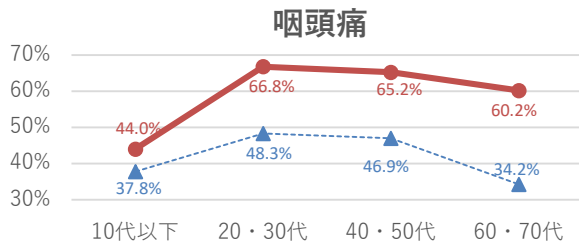
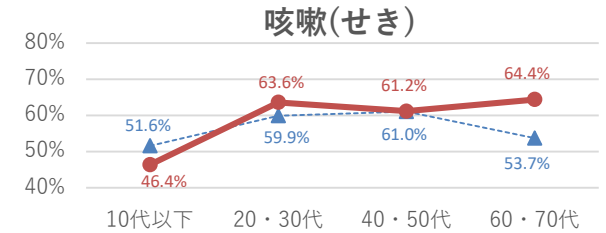
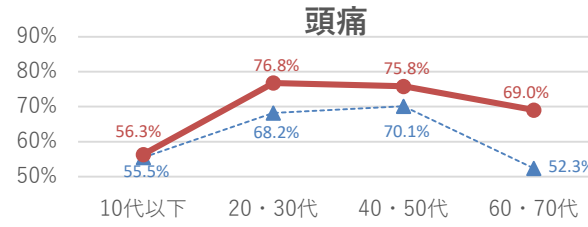
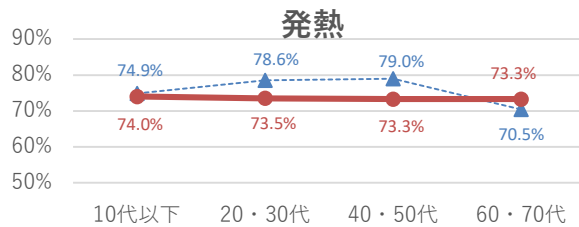
新型コロナウイルス療養者(宿泊療養・自宅療養)の行動に関するWEBアンケート

デルタ株が感染の主体であった令和3年8月と、オミクロン株が感染の主体である令和4年1月において、宿泊療養者及び自宅療養者が訴えていた主な自覚症状の割合を年代別に比較（複数回答）

◆◆◆◆◆ 令和3年8月
 ———— 令和4年1月

※ 8月分は、変異株PCR検査によるデルタ株の割合が90%を超えた8/9～9/5の4週間を集計（10歳未満～70代の8,429人）

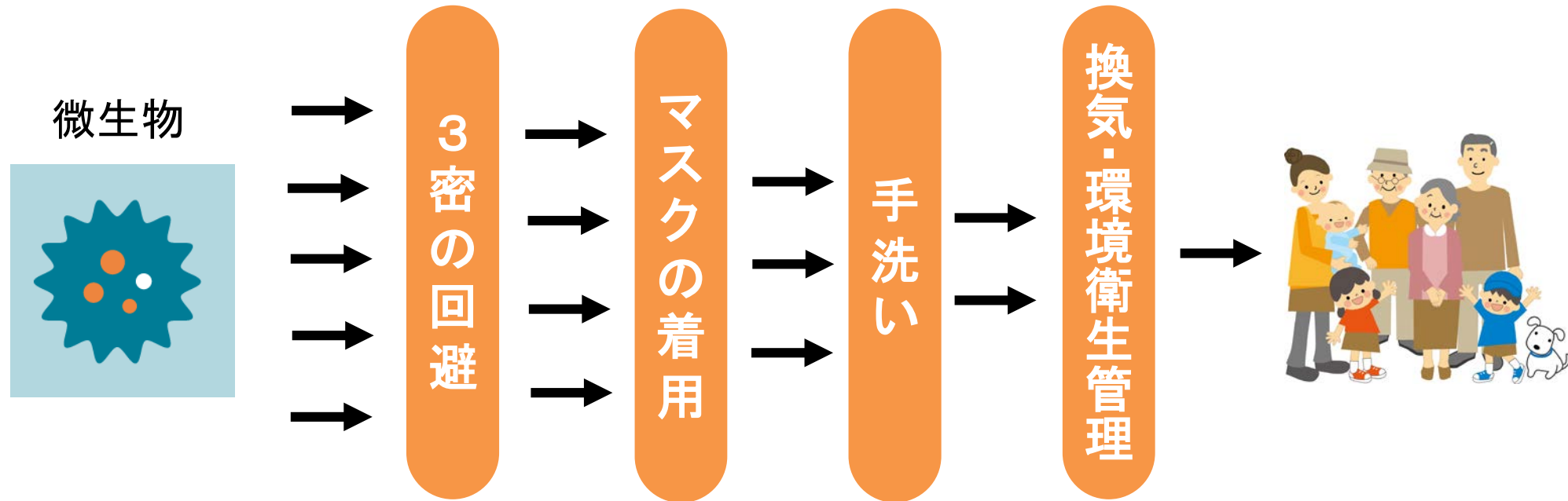
※ 1月分は、変異株PCR検査によるオミクロン株疑いの割合が90%を超えた1/10～2/6の4週間を集計（10歳未満～70代の18,571人）



- 令和4年1月の療養者は、咽頭痛の増加や、嗅覚障害・味覚障害が少ないといったオミクロン株の特徴が顕著
- いずれの年代においても、8月と同様に、発熱・頭痛・咳嗽(せき)といった症状は、変わらずに高い傾向
- 頭痛・咽頭痛・鼻汁・倦怠感といった症状を訴える割合は、20・30代の若年層において高い傾向

徹底した感染症対策の継続

- ✓ 微生物の伝播を100%防ぐことは不可能
- ✓ ワクチン接種(3回目)や基本的な感染症対策の継続など総合的な感染対策によってリスク軽減を図っていく



ワクチン接種後であっても、今後の継続した感染症対策が極めて重要で、円滑な社会・経済活動の鍵となる